

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】平成29年9月7日(2017.9.7)

【公表番号】特表2017-515220(P2017-515220A)
【公表日】平成29年6月8日(2017.6.8)
【年通号数】公開・登録公報2017-021
【出願番号】特願2016-561271(P2016-561271)
【国際特許分類】

G 0 6 F 21/45 (2013.01)

【 F I 】

G 0 6 F 21/45

【手続補正書】

【提出日】平成29年7月27日(2017.7.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

方法であって、

現ユーザから登録要求を受信することであって、前記登録要求は、ログイン名主要部を含む、登録要求の受信と、

競合する旧ユーザがデータベース内に存在するかどうかを決定することであって、前記競合する旧ユーザは、前記登録要求と関連付けて受信された前記ログイン名主要部と同じ競合するログイン名主要部を有する別のユーザに相当する、決定と、

前記競合する旧ユーザが存在する場合に、前記競合する旧ユーザに関係付けられたログインパスワードとは異なるログインパスワードを登録することをユーザに要求するログインパスワード差別化プロセスを実行することと、

前記異なるログインパスワードを前記現ユーザの登録と関連付けて前記データベースに格納することと、

を備える方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の方法であって、

前記競合する旧ユーザが存在するかどうかを決定することは、前記登録要求と関連付けて受信された前記ログイン名主要部に関係付けられたアカウントを求めて、アカウント記録を格納しているアカウントテーブルを検索することを含む、方法。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の方法であって、さらに、

前記競合する旧ユーザが存在しない場合に、前記登録要求と関連付けて受信された前記ログイン名主要部に関係付けられたアカウント記録を作成することを備える方法。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の方法であって、

前記ログインパスワード差別化プロセスは、少なくとも部分的に、前記競合する旧ユーザのアカウントに関係付けられた前記ログインパスワードに基づいて、ログインパスワードルールを決定することを含む、方法。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の方法であって、

前記ログインパスワード差別化プロセスは、
前記現ユーザからログインパスワードを受信することと、
前記現ユーザからの前記ログインパスワードが前記ログインパスワードルールに適合するかどうかを決定することと、
前記現ユーザから受信された前記ログインパスワードが前記ログインパスワードルールに適合する場合に、前記現ユーザのためのアカウントを作成することと、
を含む、方法。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の方法であって、
前記現ユーザのためのアカウントを作成することは、
少なくとも部分的に、前記ログイン名主要部と、前記現ユーザから受信された前記ログインパスワードとに基づいて、前記現ユーザの前記登録に関係付けられたユーザ記録をアカウントテーブル内に作成することと、
前記競合する旧ユーザの前記ログイン名主要部のログイン名フィールドに競合識別パラメータを導入することと、
を含む、方法。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の方法であって、
前記競合する旧ユーザの前記ログイン名主要部のログイン名フィールドに競合識別パラメータを導入することは、
前記アカウントテーブル内の、前記競合する旧ユーザに対応するアカウント記録を、前記ログイン名フィールド内に前記競合識別パラメータを含むようにアップデートすることを含む、方法。

【請求項 8】

請求項 1 に記載の方法であって、さらに、
ユーザからログイン要求を受信することであって、前記ログイン要求と関連付けてログイン名主要部およびログインパスワードが受信される、ログイン要求の受信と、
前記ログイン要求と関連付けて受信された前記ログイン名主要部と前記ログインパスワードとの組み合わせに一致するアカウントが存在するかどうかを決定することと、
前記ログイン名主要部および前記ログインパスワードに関係付けられたアカウントが存在する場合に、前記ユーザがログインすることを許可することと、
前記ログイン名主要部および前記ログインパスワードに関係付けられたアカウントが存在しない場合に、前記ユーザのログインを拒絶することと、
を備える方法。

【請求項 9】

請求項 1 に記載の方法であって、さらに、
ユーザがログインに成功した場合に、前記ユーザに関係付けられたユーザアカウント記録が競合識別パラメータを含むかどうかを決定することと、
前記ユーザアカウント記録が前記競合識別パラメータを含む場合に、ログイン名主要部修正インターフェースを前記ユーザに提供することと、
を備える方法。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の方法であって、
前記ログイン名主要部修正インターフェースは、前記ユーザを、前記ユーザのユーザアカウント記録に関係付けられたログイン名主要部を修正するように誘導する、方法。

【請求項 11】

請求項 9 に記載の方法であって、さらに
前記ログイン名主要部修正インターフェースに入力された修正されたログイン名主要部を受信することと、
競合する新ユーザが存在するかどうかを決定することであって、前記競合する新ユーザ

は、前記修正されたログイン名主要部と同じである競合するログイン名主要部を有する別のユーザに相当する、決定と、

前記競合する新ユーザが存在する場合に、前記競合する新ユーザに関係付けられたユーザアカウント記録のログイン名フィールドを、競合識別パラメータを含むようにアップデートすることと、

前記競合する新ユーザが存在しない場合に、前記現ユーザの前記ユーザアカウント記録内の前記ログイン名主要部を、前記修正されたログイン名主要部を使用してアップデートすることと、

を備える方法。

【請求項 12】

請求項 11 に記載の方法であって、

前記競合する新ユーザが存在する場合に、前記競合する新ユーザの前記ユーザアカウント記録は、前記競合する新ユーザが競合する旧ユーザに変換されるようにおよび前記現ユーザの前記ユーザアカウント記録の前記ログイン名主要部から競合識別パラメータが削除されるようにアップデートされる、方法。

【請求項 13】

請求項 1 に記載の方法であって、

前記ログインパスワード差別化プロセスは、拒絶登録誘導モードまたはパスワードルール誘導モードのプロセスを含む、方法。

【請求項 14】

請求項 13 に記載の方法であって、

前記拒絶登録誘導モードは、

前記登録要求と関連付けて前記現ユーザから受信された前記ログインパスワードが、前記競合する旧ユーザのアカウントに関係付けられたログインパスワードと同じであるかどうかを決定することと、

前記登録要求と関連付けて受信された前記ログインパスワードが、前記競合する旧ユーザの前記アカウントに関係付けられた前記ログインパスワードと同じである場合に、登録を拒絶し、前記登録要求と関連付けて受信された前記ログインパスワードが前記現ユーザに対するセキュリティルールに適合しないという旨の表示を提供することと、

を含む、方法。

【請求項 15】

請求項 14 に記載の方法であって、さらに、

正の整数 N を選択することと、

前記現ユーザから受信された N 回の登録要求を拒絶し、前記 N 回の各登録要求の受信を受けて、前記ログインパスワードが前記セキュリティルールに適合しないという旨の表示を提供することと、

($N + 1$) 回目の登録要求を前記現ユーザから受信することと、

前記 ($N + 1$) 回目の登録要求と関連付けて前記現ユーザから受信されたログインパスワードが、前記競合する旧ユーザの前記アカウントに関係付けられた前記ログインパスワードと同じであるかどうかを決定することと、

前記 ($N + 1$) 回目の登録要求と関連付けて受信された前記ログインパスワードが、前記競合する旧ユーザの前記アカウントに関係付けられた前記ログインパスワードと同じである場合に、前記 ($N + 1$) 回目の登録要求と関連付けて受信された前記ログインパスワードが前記セキュリティルールに適合しないという旨の表示を提供することと、

前記 ($N + 1$) 回目の登録要求と関連付けて受信された前記ログインパスワードが、前記競合する旧ユーザの前記アカウントに関係付けられた前記ログインパスワードと同じではない場合に、前記現ユーザを登録することと、

を備える方法。

【請求項 16】

請求項 13 に記載の方法であって、

前記パスワードルール誘導モードは、長さルール誘導モード、指定文字誘導モード、または文字クラス誘導モードに相当する、方法。

【請求項 17】

請求項 16 に記載の方法であって、

前記指定文字誘導モードは、

前記登録要求と関連付けて前記現ユーザから受信された前記ログインパスワードが指定文字を含むかどうかを決定することと、

前記ログインパスワードが前記指定文字を含む場合に、前記ユーザを登録することと

、
前記ログインパスワードが前記指定文字を含まない場合に、前記指定文字を含むログインパスワードを入力するように前記現ユーザに指示することであって、前記競合する旧ユーザのアカウントに関係付けられた前記ログインパスワードは、前記指定文字を含まない、前記現ユーザへの指示と、

を含む、方法。

【請求項 18】

請求項 16 に記載の方法であって、

前記長さルール誘導モードは、

前記登録要求と関連付けて前記現ユーザから受信された前記ログインパスワードがあらかじめ定められた長さルールに適合するかどうかを決定することと、

前記ログインパスワードが前記あらかじめ定められた長さルールに適合する場合に、前記ユーザを登録することと、

前記ログインパスワードが前記あらかじめ定められた長さルールに適合しない場合に、前記あらかじめ定められた長さルールに適合するログインパスワードを入力するように前記現ユーザに指示することであって、前記競合する旧ユーザのアカウントに関係付けられた前記ログインパスワードは、前記あらかじめ定められた長さルールに適合しない、前記現ユーザへの指示と、

を含む、方法。

【請求項 19】

請求項 16 に記載の方法であって、

前記文字クラス誘導モードは、

前記登録要求と関連付けて前記現ユーザから受信された前記ログインパスワードがあらかじめ定められた文字クラスルールに適合するかどうかを決定することと、

前記ログインパスワードが前記あらかじめ定められた文字クラスルールに適合する場合に、前記ユーザを登録することと、

前記ログインパスワードが前記あらかじめ定められた文字クラスルールに適合しない場合に、前記あらかじめ定められた文字クラスルールに適合するログインパスワードを入力するように前記現ユーザに指示することであって、前記競合する旧ユーザのアカウントに関係付けられた前記ログインパスワードは、前記あらかじめ定められた文字クラスルールに適合しない、前記現ユーザへの指示と、

を含む、方法。

【請求項 20】

請求項 1 に記載の方法であって、さらに、

パスワード回復要求を受信することであって、前記回復要求と関連付けてログイン名主要部が受信される、パスワード回復要求の受信と、

前記ログイン名主要部に複数のアカウントが関係付けられているかどうかを決定することと、

前記回復要求と関連付けて受信された前記ログイン名主要部に複数のアカウントが関係付けられているとの決定を受けて、前記パスワード回復要求の送信元であるユーザに、選択的回復検証インターフェースを提供することであって、前記選択的回復検証インターフェースは、前記ログイン名主要部に関係付けられた前記複数のアカウントの各アカウント

に対応する照合選択肢を含む、選択的回復検証インターフェースの提供と、

前記複数のアカウントのいずれかに対応する照合選択肢の検証が成功したとの決定を受けて、前記検証にパスしたアカウントのためのパスワードリセットインターフェースを、前記パスワード回復要求の送信元である前記ユーザに提供することであって、各照合選択肢は、前記ログイン名主要部とは関係がない照合選択肢である、パスワードリセットインターフェースの提供と、

を備える方法。

【請求項 2 1】

請求項 1 に記載の方法であって、さらに、

成功したユーザログイン後に、ユーザからサブアカウント作成要求を受信することと、

前記サブアカウント作成要求の送信元である前記ユーザに、サブアカウント作成インターフェースをブッシュすることと、

前記サブアカウント作成インターフェースへのログインパスワード入力を受信することと、

前記サブアカウント作成インターフェースに入力された前記ログインパスワードが、前記ユーザが現時点でログインしているアカウントに関係付けられたログインパスワードと同じであるかどうかを決定することと、

前記サブアカウント作成インターフェースに入力された前記ログインパスワードが同じである場合に、前記ログインパスワードを入力しなすように前記ユーザに指示することと、

前記サブアカウント作成インターフェースに入力された前記ログインパスワードが同じではない場合に、前記現時点でログインされているアカウントの前記ログイン名主要部と、前記ユーザによって前記サブアカウント作成インターフェースに入力された前記ログインパスワードと、に基づいて、サブアカウントを作成し、サブアカウントログイン名フィールドに関係性識別パラメータを追加することと、

を備える方法。

【請求項 2 2】

請求項 1 に記載の方法であって、

ユーザアカウントを格納しているアカウントテーブルのログイン名フィールドは、ログイン名主要部と、乱数文字列と、仕切り文字とを含み、前記ログイン名主要部と前記乱数文字列との間には、競合識別パラメータが位置し、前記仕切り文字は、前記競合識別パラメータと前記ログイン名主要部との間に位置する、方法。

【請求項 2 3】

デバイスであって、

少なくとも 1 つのプロセッサと、

前記少なくとも 1 つのプロセッサに接続され、前記少なくとも 1 つのプロセッサに命令を提供するように構成されたメモリと、を備え、

前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

現ユーザから登録要求を受信することであって、前記登録要求は、ログイン名主要部を含む、登録要求の受信と、

競合する旧ユーザがデータベース内に存在するかどうかを決定することであって、前記競合する旧ユーザは、前記登録要求と関連付けて受信された前記ログイン名主要部と同じ競合するログイン名主要部を有する別のユーザに相当する、決定と、

前記競合する旧ユーザが存在する場合に、前記競合する旧ユーザに関係付けられたログインパスワードとは異なるログインパスワードを登録することをユーザに要求するログインパスワード差別化プロセスを実行することと、

前記異なるログインパスワードを前記現ユーザの登録と関連付けて前記データベースに格納することと、を行うように構成される、デバイス。

【請求項 2 4】

取引を生成するためのコンピュータプログラムであって、コンピュータを使用して、

現ユーザから登録要求を受信するための機能であって、前記登録要求は、ログイン名主要部を含む、機能と、

競合する旧ユーザがデータベース内に存在するかどうかを決定するための機能であって、前記競合する旧ユーザは、前記登録要求と関連付けて受信された前記ログイン名主要部と同じ競合するログイン名主要部を有する別のユーザに相当する、機能と、

前記競合する旧ユーザが存在する場合に、前記競合する旧ユーザに関係付けられたログインパスワードとは異なるログインパスワードを登録することをユーザに要求するログインパスワード差別化プロセスを実行するための機能と、

前記異なるログインパスワードを前記現ユーザの登録と関連付けて前記データベースに格納するための機能と、

を実現させるための、コンピュータプログラム。

【**手続補正 2**】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0071

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0071】

ログインパスワードフィールド320にエントリされたログインパスワードが全てのログインパスワード基準に適合するのではない場合は、ログインパスワード警告フィールド340b内に警告が提供できる。ログインパスワード警告フィールド340bは、ログインパスワードフィールド320にエントリされたログインパスワードが許容可能ではないという旨の表示を提供できる。例えば、ログインパスワードフィールド320にエントリされたログインパスワードがあらかじめ定められた長さルールに適合しない場合は、ログインパスワード警告フィールド340bは、ログインパスワードフィールド320にエントリされたログインパスワードが（1つまたは複数の）セキュリティルールに適合しないという旨の表示を提供でき、ユーザは、あらかじめ定められた長さ（例えば、あらかじめ定められた最大桁数）を有するログインパスワードをログインパスワードフィールド320にエントリするように指示を受けることができる。

【**手続補正 3**】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0081

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0081】

ログインパスワードフィールド320にエントリされたログインパスワードが全てのログインパスワード基準に適合するのではない場合は、ログインパスワード警告フィールド340c内に警告が提供できる。ログインパスワード警告フィールド340cは、ログインパスワードフィールド320にエントリされたログインパスワードが許容可能ではないという旨の表示を提供できる。例えば、ログインパスワードフィールド320にエントリされたログインパスワードが指定文字ルールに適合しない場合は、ログインパスワード警告フィールド340cは、ログインパスワードフィールド320にエントリされたログインパスワードが（1つまたは複数の）セキュリティルールに適合しないという旨の表示を提供でき、ユーザは、あらかじめ定められた文字（例えば、ログインパスワードに含めることを要求される指定の文字）を有するログインパスワードをログインパスワードフィールド320にエントリするように指示を受けることができる。

【**手続補正 4**】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0094

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 9 4 】

ユーザアカウント記録のログイン名フィールドが競合識別パラメータを含む場合は、403において、ユーザ識別子修正インターフェースが現ユーザに提供される。例えば、403において、サーバは、ユーザ識別子修正インターフェース（例えば、ログイン名主要部修正インターフェース）を現ユーザに送信する。ユーザ識別子修正インターフェースは、現ユーザのアカウント記録に関係付けられたログイン名主要部の修正に現ユーザを誘導するように構成できる。

【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 1 3 4

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 1 3 4 】

以上の実施形態は、理解を明瞭にする目的で幾らか詳細に説明されてきたが、本発明は、提供された詳細に限定されない。本発明を実現するには、数々の代替手法がある。開示された実施形態は、例示的なものであり、限定的なものではない。

本発明は、たとえば、以下のような態様で実現することもできる。

適用例 1 :方法であって、現ユーザから登録要求を受信することであって、前記登録要求は、ログイン名主要部を含む、登録要求の受信と、競合する旧ユーザがデータベース内に存在するかどうかを決定することであって、前記競合する旧ユーザは、前記登録要求と関連付けて受信された前記ログイン名主要部と同じ競合するログイン名主要部を有する別のユーザに相当する、決定と、前記競合する旧ユーザが存在する場合に、前記競合する旧ユーザに関係付けられたログインパスワードとは異なるログインパスワードを登録することをユーザに要求するログインパスワード差別化プロセスを実行することと、前記異なるログインパスワードを前記現ユーザの登録と関連付けて前記データベースに格納することと、を備える方法。適用例 2 :適用例 1 の方法であって、前記競合する旧ユーザが存在するかどうかを決定することは、前記登録要求と関連付けて受信された前記ログイン名主要部に関係付けられたアカウントを求めて、アカウント記録を格納しているアカウントテーブルを検索することを含む、方法。適用例 3 :適用例 1 の方法であって、さらに、前記競合する旧ユーザが存在しない場合に、前記登録要求と関連付けて受信された前記ログイン名主要部に関係付けられたアカウント記録を作成することを備える方法。適用例 4 :適用例 1 の方法であって、前記ログインパスワード差別化プロセスは、少なくとも部分的に、前記競合する旧ユーザのアカウントに関係付けられた前記ログインパスワードに基づいて、ログインパスワードルールを決定することを含む、方法。適用例 5 :適用例 4 の方法であって、前記ログインパスワード差別化プロセスは、前記現ユーザからログインパスワードを受信することと、前記現ユーザからの前記ログインパスワードが前記ログインパスワードルールに適合するかどうかを決定することと、

前記現ユーザから受信された前記ログインパスワードが前記ログインパスワードルールに適合する場合に、前記現ユーザのためのアカウントを作成することと、
を含む、方法。

適用例 6 :

適用例 5 の方法であって、

前記現ユーザのためのアカウントを作成することは、

少なくとも部分的に、前記ログイン名主要部と、前記現ユーザから受信された前記ログインパスワードとに基づいて、前記現ユーザの前記登録に関係付けられたユーザ記録をアカウントテーブル内に作成することと、

前記競合する旧ユーザの前記ログイン名主要部のログイン名フィールドに競合識別パラメータを導入することと、

を含む、方法。

適用例 7 :

適用例 6 の方法であって、

前記競合する旧ユーザの前記ログイン名主要部のログイン名フィールドに競合識別パラメータを導入することは、

前記アカウントテーブル内の、前記競合する旧ユーザに対応するアカウント記録を、前記ログイン名フィールド内に前記競合識別パラメータを含むようにアップデートすることを含む、方法。

適用例 8 :

適用例 1 の方法であって、さらに、

ユーザからログイン要求を受信することであって、前記ログイン要求と関連付けてログイン名主要部およびログインパスワードが受信される、ログイン要求の受信と、

前記ログイン要求と関連付けて受信された前記ログイン名主要部と前記ログインパスワードとの組み合わせに一致するアカウントが存在するかどうかを決定することと、

前記ログイン名主要部および前記ログインパスワードに関係付けられたアカウントが存在する場合に、前記ユーザがログインすることを許可することと、

前記ログイン名主要部および前記ログインパスワードに関係付けられたアカウントが存在しない場合に、前記ユーザのログインを拒絶することと、

を備える方法。

適用例 9 :

適用例 1 の方法であって、さらに、

ユーザがログインに成功した場合に、前記ユーザに関係付けられたユーザアカウント記録が競合識別パラメータを含むかどうかを決定することと、

前記ユーザアカウント記録が前記競合識別パラメータを含む場合に、ログイン名主要部修正インターフェースを前記ユーザに提供することと、

を備える方法。

適用例 10 :

適用例 9 の方法であって、

前記ログイン名主要部修正インターフェースは、前記ユーザを、前記ユーザのユーザアカウント記録に関係付けられたログイン名主要部を修正するように誘導する、方法。

適用例 11 :

適用例 9 の方法であって、さらに

前記ログイン名主要部修正インターフェースに入力された修正されたログイン名主要部を受信することと、

競合する新ユーザが存在するかどうかを決定することであって、前記競合する新ユーザは、前記修正されたログイン名主要部と同じである競合するログイン名主要部を有する別のユーザに相当する、決定と、

前記競合する新ユーザが存在する場合に、前記競合する新ユーザに関係付けられたユーザアカウント記録のログイン名フィールドを、競合識別パラメータを含むようにアップデ

ートすることと、

前記競合する新ユーザが存在しない場合に、前記現ユーザの前記アカウント記録内の前記ログイン名主要部を、前記修正されたログイン名主要部を使用してアップデートすることと、

を備える方法。

適用例 1 2 :

適用例 1 1 の方法であって、

前記競合する新ユーザが存在する場合に、前記競合する新ユーザの前記ユーザアカウント記録は、前記競合する新ユーザが競合する旧ユーザに変換されるようにおよび前記現ユーザの前記アカウント記録からの前記ログイン名主要部から競合識別パラメータが削除されるようにアップデートされる、方法。

適用例 1 3 :

適用例 1 の方法であって、

前記ログインパスワード差別化プロセスは、拒絶登録誘導モードまたはパスワードルール誘導モードのプロセスを含む、方法。

適用例 1 4 :

適用例 1 3 の方法であって、

前記拒絶登録モードは、

前記登録要求と関連付けて前記現ユーザから受信された前記ログインパスワードが、前記競合する旧ユーザのアカウントに関係付けられたログインパスワードと同じであるかどうかを決定することと、

前記登録要求と関連付けて受信された前記ログインパスワードが、前記競合する旧ユーザの前記アカウントに関係付けられた前記ログインパスワードと同じである場合に、登録を拒絶し、前記登録要求と関連付けて受信された前記ログインパスワードが前記現ユーザに対するセキュリティルールに適合しないという旨の表示を提供することと、

を含む、方法。

適用例 1 5 :

適用例 1 4 の方法であって、さらに、

正の整数 N を選択することと、

前記現ユーザから受信された N 回の登録要求を拒絶し、前記 N 回の各登録要求の受信を受けて、前記ログインパスワードが前記セキュリティルールに適合しないという旨の表示を提供することと、

(N + 1) 回目の登録要求を前記現ユーザから受信することと、

前記 (N + 1) 回目の登録要求と関連付けて前記現ユーザから受信されたログインパスワードが、前記競合する旧ユーザの前記アカウントに関係付けられた前記ログインパスワードと同じであるかどうかを決定することと、

前記 (N + 1) 回目の登録要求と関連付けて受信された前記ログインパスワードが、前記競合する旧ユーザの前記アカウントに関係付けられた前記ログインパスワードと同じである場合に、前記 (N + 1) 回目の登録要求と関連付けて受信された前記ログインパスワードが前記セキュリティルールに適合しないという旨の表示を提供することと、

前記 (N + 1) 回目の登録要求と関連付けて受信された前記ログインパスワードが、前記競合する旧ユーザの前記アカウントに関係付けられた前記ログインパスワードと同じではない場合に、前記現ユーザを登録することと、

を備える方法。

適用例 1 6 :

適用例 1 3 の方法であって、

前記パスワードルール誘導モードは、長さルール誘導モード、指定文字誘導モード、または文字クラス誘導モードに相当する、方法。

適用例 1 7 :

適用例 1 6 の方法であって、

前記長さルール誘導モードは、

前記登録要求と関連付けて前記現ユーザから受信された前記ログインパスワードが指定文字を含むかどうかを決定することと、

前記ログインパスワードが前記指定文字を含む場合に、前記ユーザを登録することと

、

前記ログインパスワードが前記指定文字を含まない場合に、前記指定文字を含むログインパスワードを入力するように前記現ユーザに指示することであって、前記競合する旧ユーザのアカウントに関係付けられた前記ログインパスワードは、前記指定文字を含まない、前記現ユーザへの指示と、

を含む、方法。

適用例 18：

適用例 16 の方法であって、

前記指定文字誘導モードは、

前記登録要求と関連付けて前記現ユーザから受信された前記ログインパスワードがあらかじめ定められた長さルールに適合するかどうかを決定することと、

前記ログインパスワードが前記あらかじめ定められた長さルールに適合する場合に、前記ユーザを登録することと、

前記ログインパスワードが前記あらかじめ定められた長さルールに適合しない場合に、前記あらかじめ定められた長さルールに適合するログインパスワードを入力するように前記現ユーザに指示することであって、前記競合する旧ユーザのアカウントに関係付けられた前記ログインパスワードは、前記あらかじめ定められた長さルールに適合しない、前記現ユーザへの指示と、

を含む、方法。

適用例 19：

適用例 16 の方法であって、

前記文字クラス誘導モードは、

前記登録要求と関連付けて前記現ユーザから受信された前記ログインパスワードがあらかじめ定められた文字クラスルールに適合するかどうかを決定することと、

前記ログインパスワードが前記あらかじめ定められた文字クラスルールに適合する場合に、前記ユーザを登録することと、

前記ログインパスワードが前記あらかじめ定められた文字クラスルールに適合しない場合に、前記あらかじめ定められた文字クラスルールに適合するログインパスワードを入力するように前記現ユーザに指示することであって、前記競合する旧ユーザのアカウントに関係付けられた前記ログインパスワードは、前記あらかじめ定められた文字クラスルールに適合しない、前記現ユーザへの指示と、

を含む、方法。

適用例 20：

適用例 1 の方法であって、さらに、

パスワード回復要求を受信することであって、前記回復要求と関連付けてログイン名主要部が受信される、パスワード回復要求の受信と、

前記ログイン名主要部に複数のアカウントが関係付けられているかどうかを決定することと、

前記回復要求と関連付けて受信された前記ログイン名主要部に複数のアカウントが関係付けられているとの決定を受けて、前記パスワード回復要求の送信元であるユーザに、選択的回復検証インターフェースを提供することであって、前記選択的回復検証インターフェースは、前記ログイン名主要部に関係付けられた前記複数のアカウントの各アカウントに対応する照合選択肢を含む、選択的回復検証インターフェースの提供と、

前記複数のアカウントのいずれかに対応する照合選択肢の検証が成功したとの決定を受けて、前記検証にパスしたアカウントのためのパスワードリセットインターフェースを、前記パスワード回復要求の送信元である前記ユーザに提供することであって、各照合選択

肢は、前記ログイン名主要部とは関係がない照合選択肢である、パスワードリセットインターフェースの提供と、
を備える方法。

適用例 2 1 :

適用例 1 の方法であって、さらに、
成功したユーザログイン後に、ユーザからサブアカウント作成要求を受信することと、
前記サブアカウント作成要求の送信元である前記ユーザに、サブアカウント作成インターフェースをプッシュすることと、
前記サブアカウント作成インターフェースへのログインパスワード入力を受信することと、

前記サブアカウント作成インターフェースに入力された前記ログインパスワードが、前記ユーザが現時点でログインしているアカウントに関係付けられたログインパスワードと同じであるかどうかを決定することと、

前記サブアカウント作成インターフェースに入力された前記ログインパスワードが同じである場合に、前記ログインパスワードを入力しなおすように前記ユーザに指示することと、

前記サブアカウント作成インターフェースに入力された前記ログインパスワードが同じではない場合に、前記現時点でログインされているアカウントの前記ログイン名主要部と、前記ユーザによって前記サブアカウント作成インターフェースに入力された前記ログインパスワードと、に基づいて、サブアカウントを作成し、サブアカウントログイン名フィールドに関係性識別パラメータを追加することと、

を備える方法。

適用例 2 2 :

適用例 1 の方法であって、

ユーザアカウントを格納しているアカウントテーブルのログイン名フィールドは、ログイン名主要部と、乱数文字列と、仕切り文字とを含み、前記ログイン名主要部と前記乱数文字列との間には、競合識別パラメータが位置し、前記仕切り文字は、前記競合識別パラメータと前記ログイン名主要部との間に位置する、方法。

適用例 2 3 :

デバイスであって、

少なくとも 1 つのプロセッサと、

前記少なくとも 1 つのプロセッサに接続され、前記少なくとも 1 つのプロセッサに命令を提供するように構成されたメモリと、を備え、

前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

現ユーザから登録要求を受信することであって、前記登録要求は、ログイン名主要部を含む、登録要求の受信と、

競合する旧ユーザがデータベース内に存在するかどうかを決定することであって、前記競合する旧ユーザは、前記登録要求と関連付けて受信された前記ログイン名主要部と同じ競合するログイン名主要部を有する別のユーザに相当する、決定と、

前記競合する旧ユーザが存在する場合に、前記競合する旧ユーザに関係付けられたログインパスワードとは異なるログインパスワードを登録することをユーザに要求するログインパスワード差別化プロセスを実行することと、

前記異なるログインパスワードを前記現ユーザの登録と関連付けて前記データベースに格納することと、を行うように構成される、デバイス。

適用例 2 4 :

非一過性のコンピュータ読み取り可能ストレージ媒体に記録された、取引を生成するためのコンピュータプログラム製品であって、

現ユーザから登録要求を受信するためのコンピュータ命令であって、前記登録要求は、ログイン名主要部を含む、コンピュータ命令と、

競合する旧ユーザがデータベース内に存在するかどうかを決定するためのコンピュータ

命令であって、前記競合する旧ユーザは、前記登録要求と関連付けて受信された前記ログイン名主要部と同じ競合するログイン名主要部を有する別のユーザに相当する、コンピュータ命令と、

前記競合する旧ユーザが存在する場合に、前記競合する旧ユーザに関係付けられたログインパスワードとは異なるログインパスワードを登録することをユーザに要求するログインパスワード差別化プロセスを実行するためのコンピュータ命令と、

前記異なるログインパスワードを前記現ユーザの登録と関連付けて前記データベースに格納するためのコンピュータ命令と、

を備えるコンピュータプログラム製品。